



大同メタル工業株式会社

2026年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2025年8月7日

〔東証プライム市場、名証プレミア市場〕

証券コード:7245

2026年3月期 第1四半期実績（連結）

単位：百万円



連結	実績		前年同期比	
	2025/3期 第1四半期	2026/3期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	33,215	33,516	301	0.9%
営業利益 営業利益率	1,389 4.2%	1,832 5.5%	442 1.3pt	31.9%
経常利益 経常利益率	1,352 4.1%	1,467 4.4%	115 0.3pt	8.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 純利益率	467 1.4%	592 1.8%	125 0.4pt	26.8%
自己資本当期純利益率 (ROE) *	2.7%	3.3%	0.6pt	-
自己資本比率	36.5%	36.7%	0.2pt	-
純有利子負債 (有利子負債-現預金)	35,409	37,367	1,957	5.5%
為替レート (1USD/円)	151.41	149.52		
為替レート (1ユーロ/円)	163.24	162.08		

左記為替レートは
各期3月末TTMレート

*ROEは、親会社株主に帰属する四半期純利益を年換算し算出しております。

連結営業利益の増減要因【実績】

単位：億円



前年同期比

2026/3期
1Q営業利益
18.3

2025/3期
1Q営業利益
13.8

労務費増：△4.2
価格転嫁：+3.8

労務費
△ 0.4

経費
△ 1.6

為替影響
△ 0.4

減価償却費
△ 0.5

売上増に伴う
利益増
0.8

製造改善等
に伴う
エア費削減
5.8

その他
0.7

労務費増・経費増・為替影響・減価償却費増により約2.9億円利益減があったものの、売上増に伴う利益増や製造改善等に伴うエア費削減等で約7.3億円の利益増があり、前年同期比約4.4億円増益

2026年3月期 通期予想(連結)

単位：百万円



連結	実績	予想	前年同期比	
	2025/3期 通期	2026/3期 通期	増減額	増減率
売上高	136,303	134,000	△ 2,303	△ 1.7%
営業利益 営業利益率	7,091 5.2%	8,000 6.0%	908 0.8pt	12.8%
経常利益 経常利益率	6,820 5.0%	7,000 5.2%	179 0.2pt	2.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益 純利益率	2,720 2.0%	3,500 2.6%	779 0.6pt	28.7%
為替レート (1USD/円)	158.18	143.00		
為替レート (1ユーロ/円)	164.92	165.00		

12月末TTMレート

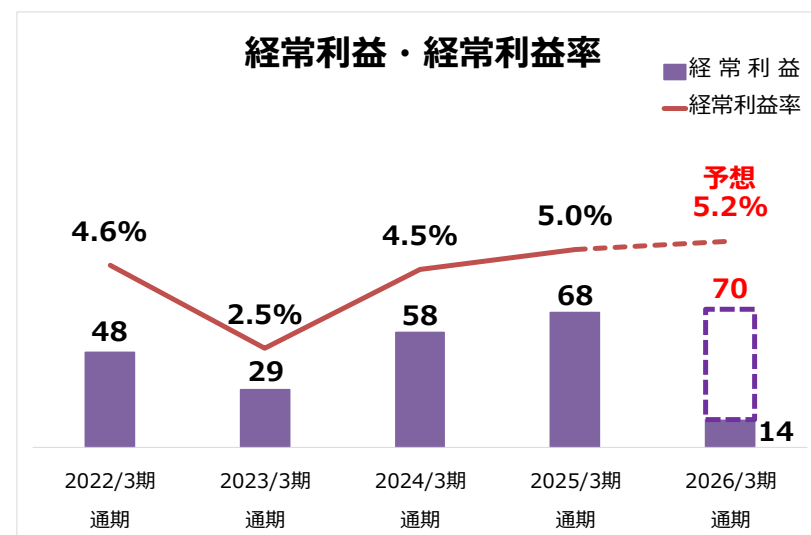
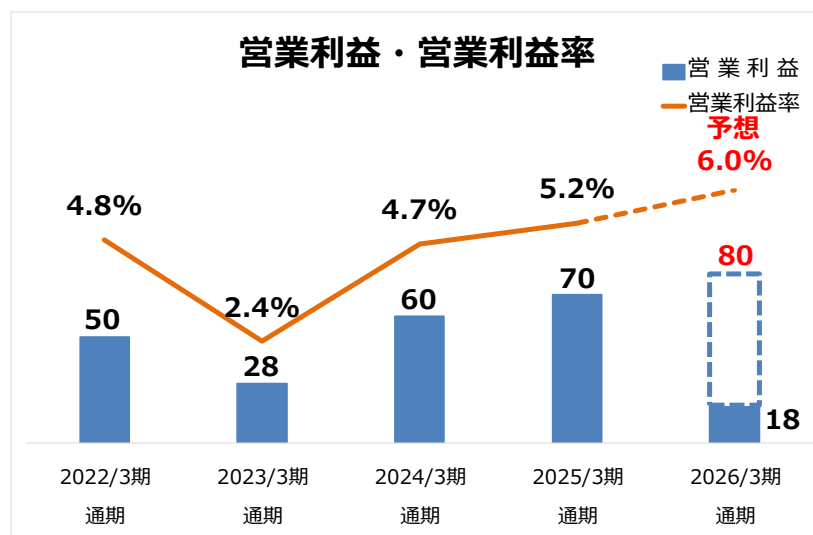
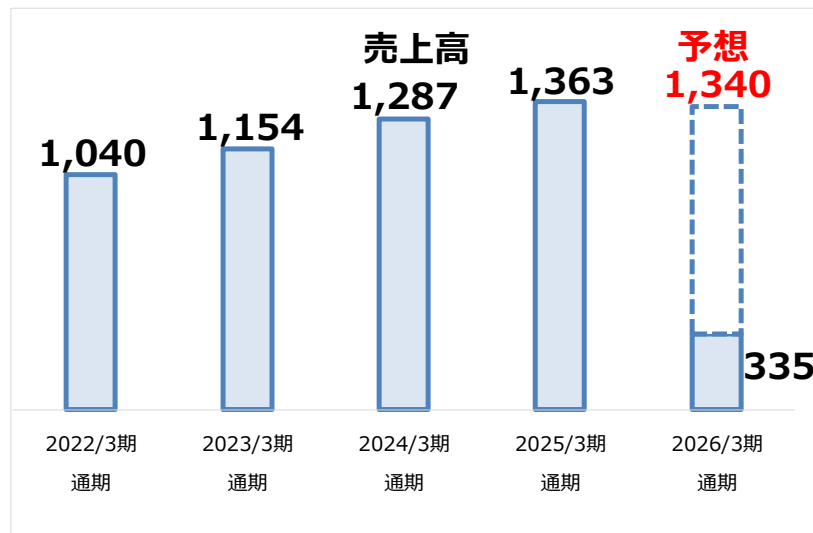
通期の業績予想は、2025年5月13日に公表した予想値に変更はありません。

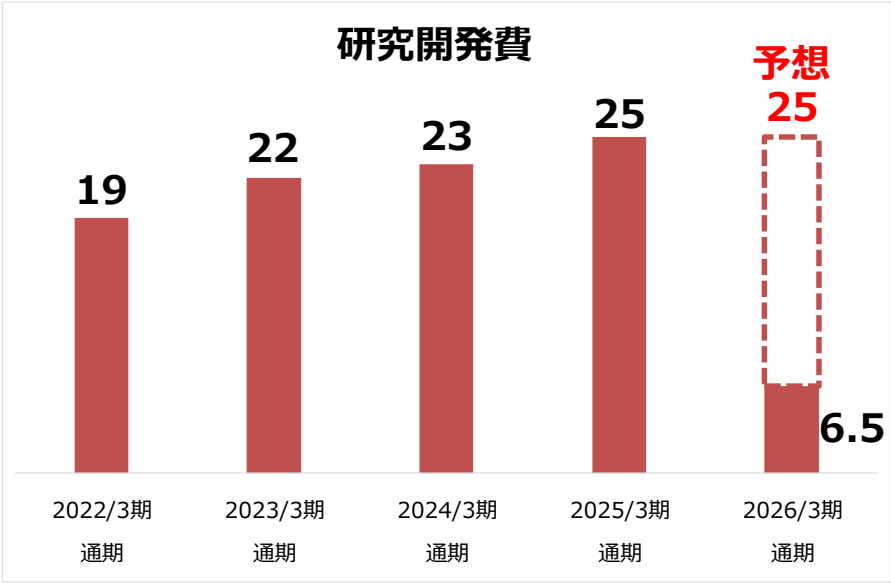
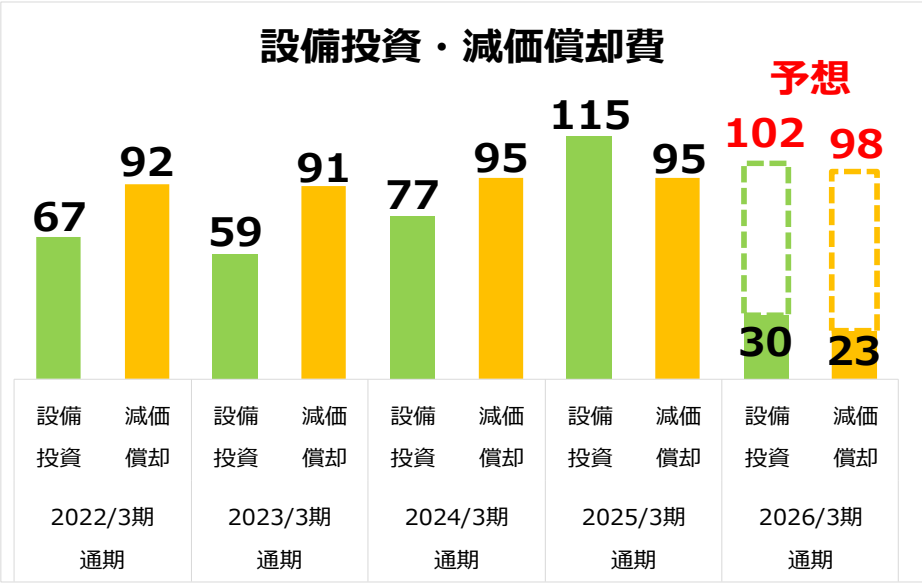
(予想)

<配当金推移>	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
中 間	10円	10円	2円	7円	12円
期 末	15円	2円	13円	11円	12円
年 間	25円	12円	15円	18円	24円

配当性向	61.4%	—	27.5%	31.2%	32.2%
利回り (期末株価ベース)	4.4%	2.3%	2.2%	3.6%	—

配当金の予想は、2025年5月13日に公表した予想値に変更はありません。





前年同期比

【売上高】

【営業損益】

セグメント	売上高 構成比	前年同期比		前年同期比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
パワートレイン事業 (旧：自動車用エンジン軸受)	51.9%	△ 387	△ 2.2%	51	2.3%
マリン・エネルギー事業 (旧：非自動車用軸受)	13.5%	420	10.1%	76	9.0%
ライフ事業 (旧：自動車用エンジン以外軸受)	16.6%	468	9.1%	184	27.4%
フロンティア事業 (旧：自動車用軸受以外部品)	16.4%	△ 255	△ 4.4%	261	—
その他	1.6%	△ 47	△ 8.0%	23	28.4%
セグメント間消去		103		△ 155	
全体合計：		301	0.9%	442	31.9%

パワートレイン事業

(セグメント間消去前)

前年同期比

旧：自動車用エンジン軸受

□ 売上高

■ 営業損益

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

【売上】 $\Delta 387$ ($\Delta 2.2\%$)

◎ 日本（乗用車）：

乗用車一部メーカーで需要が落ち込むも前年の車両認証不正影響の反動増や新規エンジン立ち上げによる受注増

◎ 日本（トラック）：

中国向け（産業機械用）の需要回復に伴う受注増や値上げによる影響

◎ 韓国：市場全体の回復やハイブリッド自動車用の好調による受注増

◎ 中国：中国メーカーの需要の戻りや中国2輪メーカー開拓による受注増

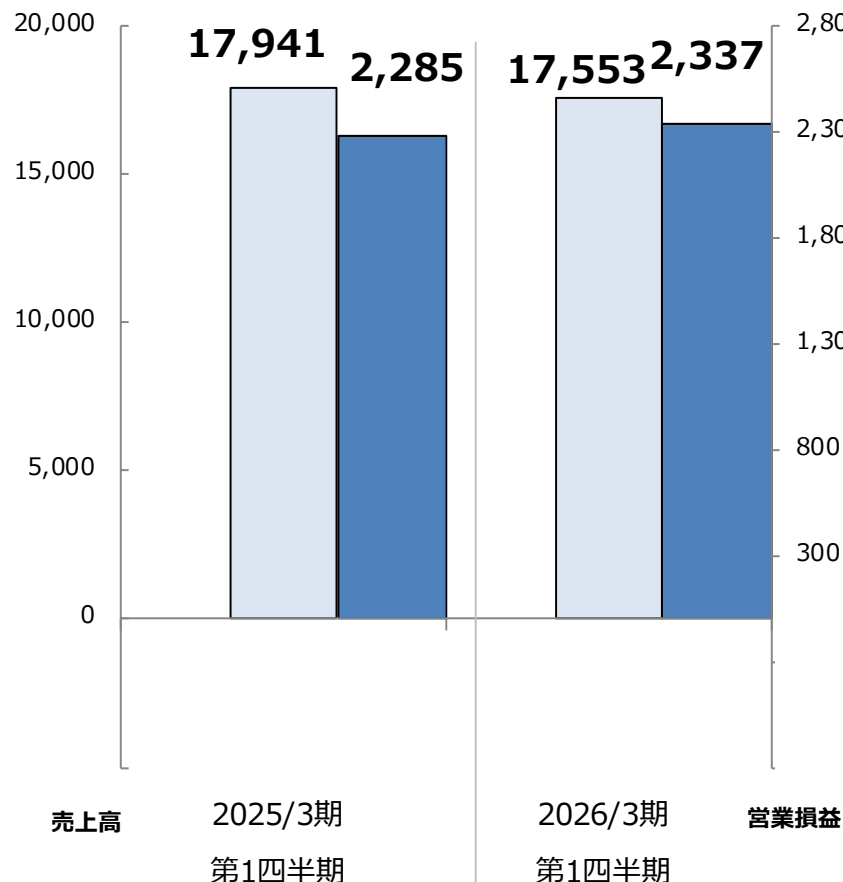
△ 欧州：EV化に伴う内燃機関搭載車の需要減に加え、大型トラック用の在庫調整による受注減

【営業損益】 $+51$ ($+2.3\%$)

◎ 日本：継続的な原価改善活動、販売価格の調整や不採算品の値上げ活動による利益改善などの影響

◎ 北米：前年のドル安ペソ高によるメキシコ生産品原価増の反動、値上げ効果や付加価値製品の受注増による影響

△ 欧州：販売管理費（倉庫費用や物流コストなど）の削減効果があったものの減収による影響



マリン・エネルギー事業

(セグメント間消去前)

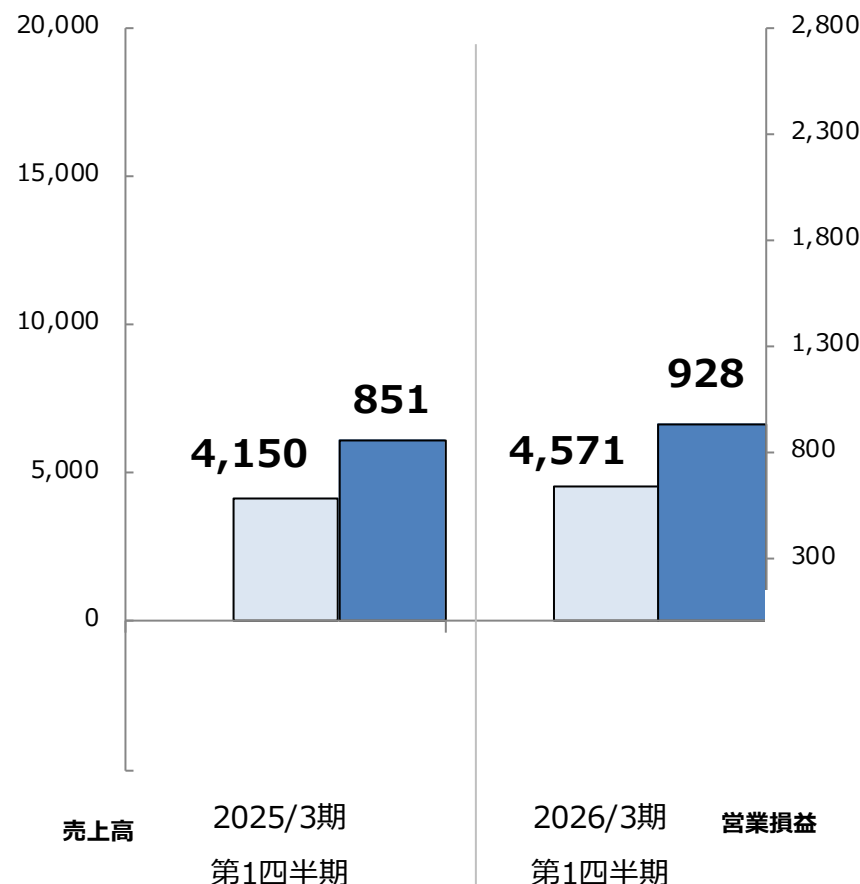
前年同期比

旧：非自動車用軸受

□ 売上高

■ 営業損益

◎増収/増益要因 △減収/減益要因



【売上】 +420 (+10.1%)

- ◎ **大型船舶：**
組付、補用品の旺盛な需要や当社における設備増強の効果も徐々に始めていることによる出荷増による影響
- ◎ **中小型船舶/産業用発電機/建設機械他：**
船舶用補機やデータセンター向けをはじめとする産業用発電機などに使われる中高速エンジン用軸受の需要好調による受注増
- ◎ **電力エネルギー/産業用コンプレッサー他：**
水力発電のスポット案件やプラント向けのコンプレッサー用軸受補用品の増加に伴う受注増

【営業損益】 +76 (+9.0%)

- ◎ プラント向けコンプレッサー用軸受の開拓や値上げ効果による影響

ライフ事業

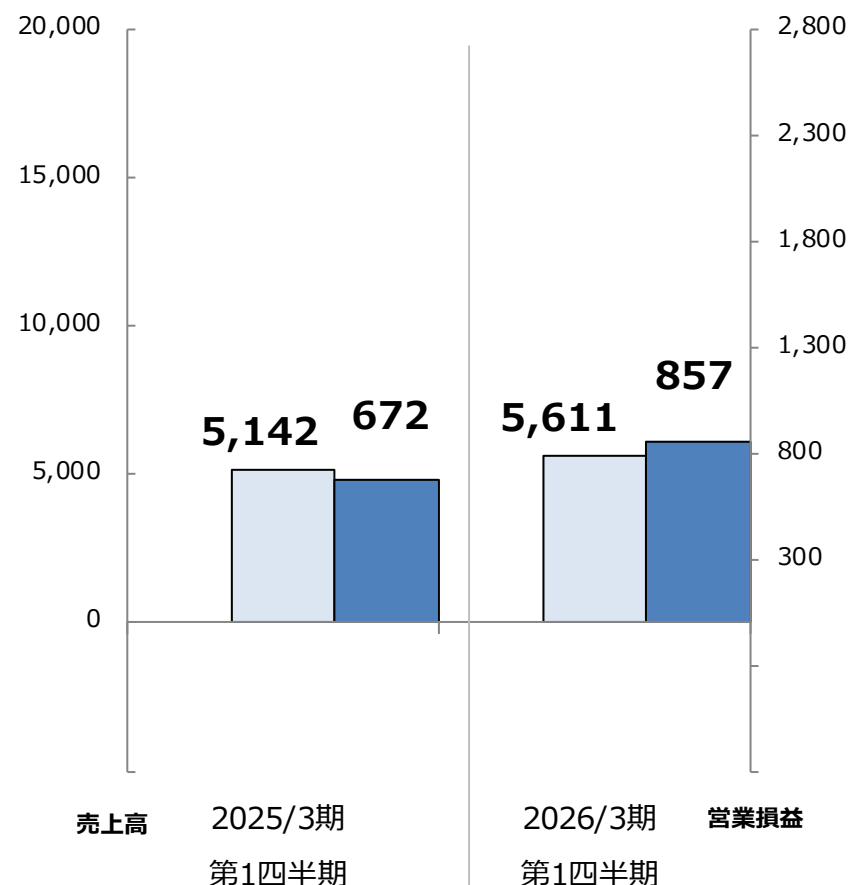
(セグメント間消去前)

前年同期比

旧：自動車用エンジン以外軸受 □ 売上高

■ 営業損益

◎ 増収/増益要因 △ 減収/減益要因



【売上】 +468 (+9.1%)

- ◎ 日本：前年の車両認証不正影響の反動増や値上げによる影響
- ◎ 中国：EV、プラグインハイブリッド自動車部品用の堅調な需要による受注増
- ◎ 北米：自動車部品用（ショックアブソーバーなど）の堅調な需要やコンプレッサー用軸受（空調機器）の新規開拓による受注増
- △ 欧州：EV化に伴う内燃機関搭載用部品の需要減に伴う受注減

【営業損益】 +184 (+27.4%)

- ◎ 日本・北米：増収や値上げ効果による影響

前年同期比

フロンティア事業

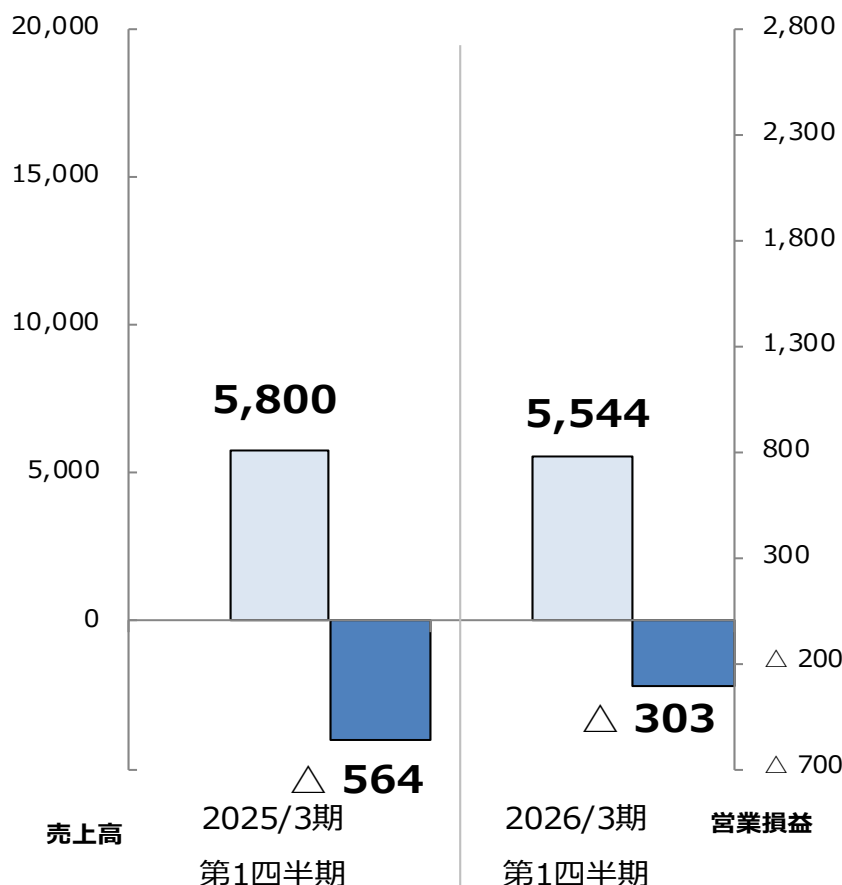
(セグメント間消去前)

旧：自動車用軸受以外部品

□ 売上高

■ 営業損益

◎増収/増益要因 △減収/減益要因



【売上】 △255 (△ 4.4%)

△アルミダイカスト製品：

日本向け製品一部の生産終了に加えて、
電動車需要の減少による受注減

△精密金属加工部品：

中国向け日系自動車の需要低調に伴う受注減

【営業損益】 +261 (－)

◎アルミダイカスト製品：

製造改善等に伴うエア費削減により損失の改善となったものの、生産性の一時的な低下や突発的な一部設備故障に伴う修繕費用増により、計画予算を下回った。更なる改善に向けた施策について計画的に進捗を図る

◎精密金属加工部品：

工程におけるボトルネックの解消など、生産能力の増強による納期改善に伴い、物流コスト（エア費用）の削減効果による影響

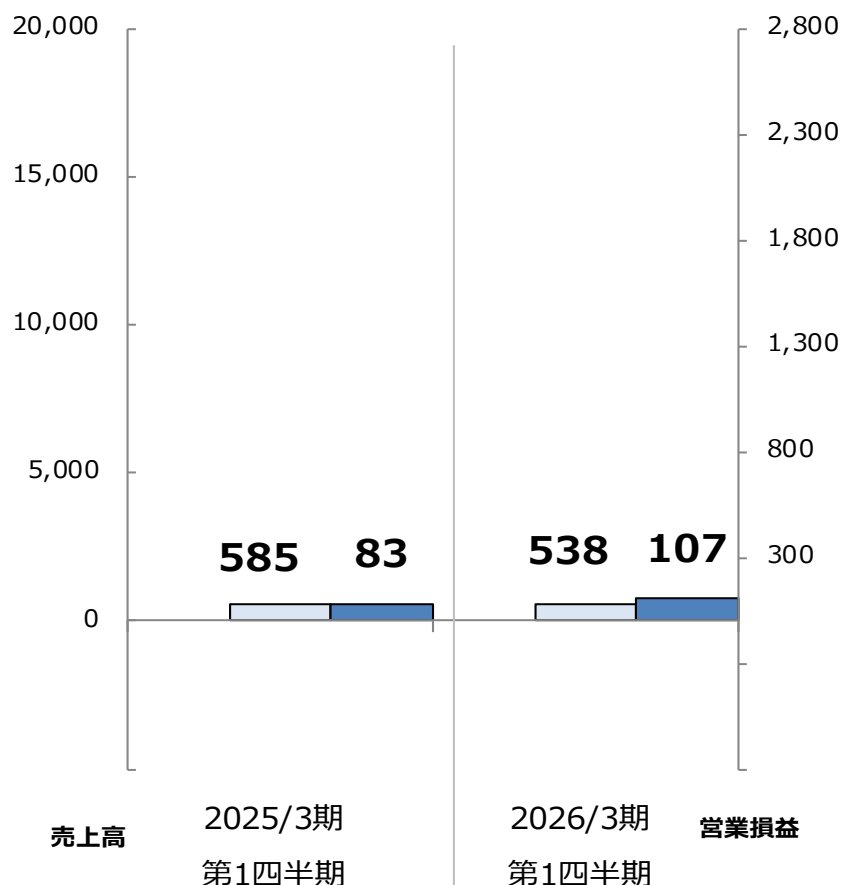
その他

(セグメント間消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高
■ 営業損益



【売上】 △47 (△ 8.0%)

△ポンプ関連製品事業では新規開拓による受注増や設備用の潤滑装置の堅調な需要に支えられたものの、金属系無潤滑軸受では前年の大型スポット案件がなかったことによる影響

【営業損益】 +23 (+28.4%)

◎値上げ効果による影響

※「その他」の区分は、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート等を含んでおります。

前年同期比

【売上高】

【営業損益】

所在地	売上高 構成比	前年同期比		前年同期比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
国内	52.7%	844	4.1%	352	41.5%
アジア	25.6%	△ 478	△ 4.4%	390	—
北米	13.2%	△ 179	△ 3.2%	6	2.0%
欧州	8.5%	△ 647	△ 15.6%	△ 295	—
内部取引消去		763		△ 10	
全体合計：		301	0.9%	442	31.9%

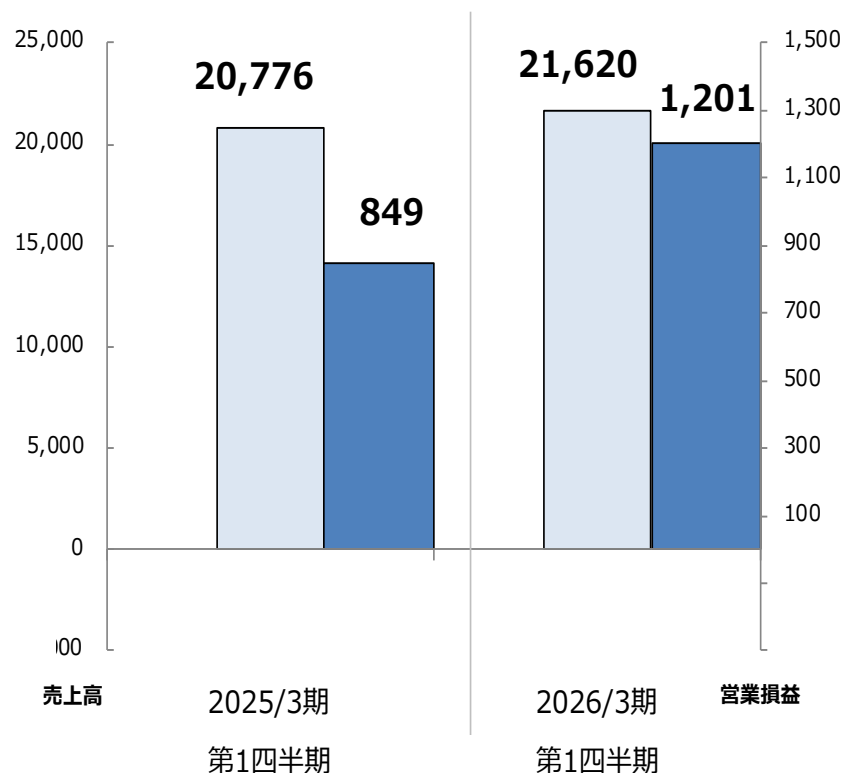
国内

(内部取引消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高
■ 営業損益



【売上】 +844 (+4.1%)

◎ 自動車関連：
前年の車両認証不正影響の反動増

【営業損益】 +352 (+41.5%)

◎ 継続的な原価改善活動、販売価格の調整や
不採算品の値上げ活動による利益改善などの影響

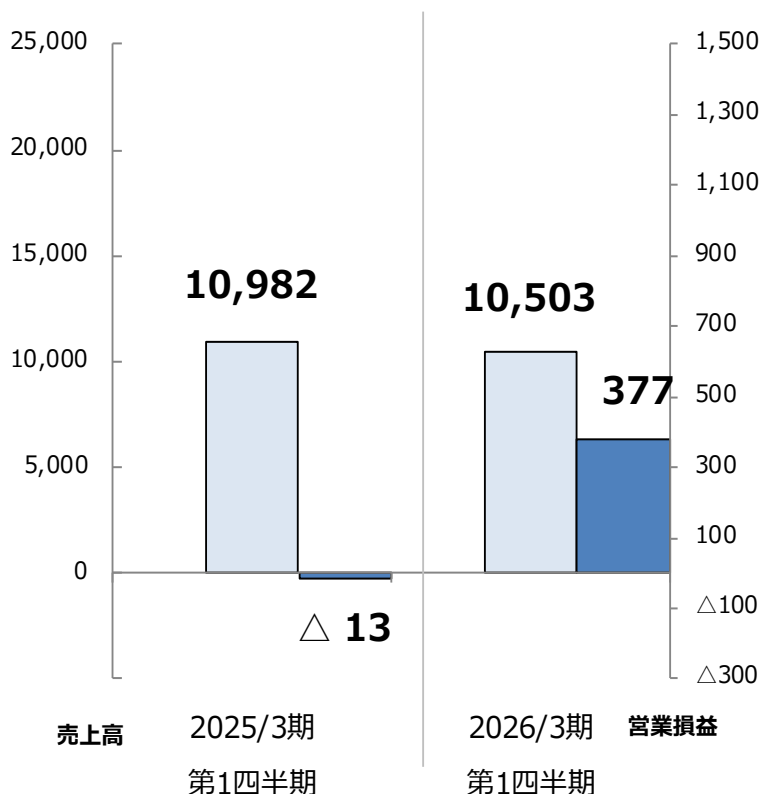
アジア

(内部取引消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高
■ 営業損益



【売上】 △478 (△ 4.4%)

△タイ 自動車用軸受：

金融機関によるローン審査の厳格化や景気減速などによる受注減

△精密金属加工部品：

中国向け日系自動車の需要低調に伴う受注減

【営業損益】 +390 (-)

◎フロンティア事業における損益改善による影響

◎中国 自動車用軸受：増収による影響

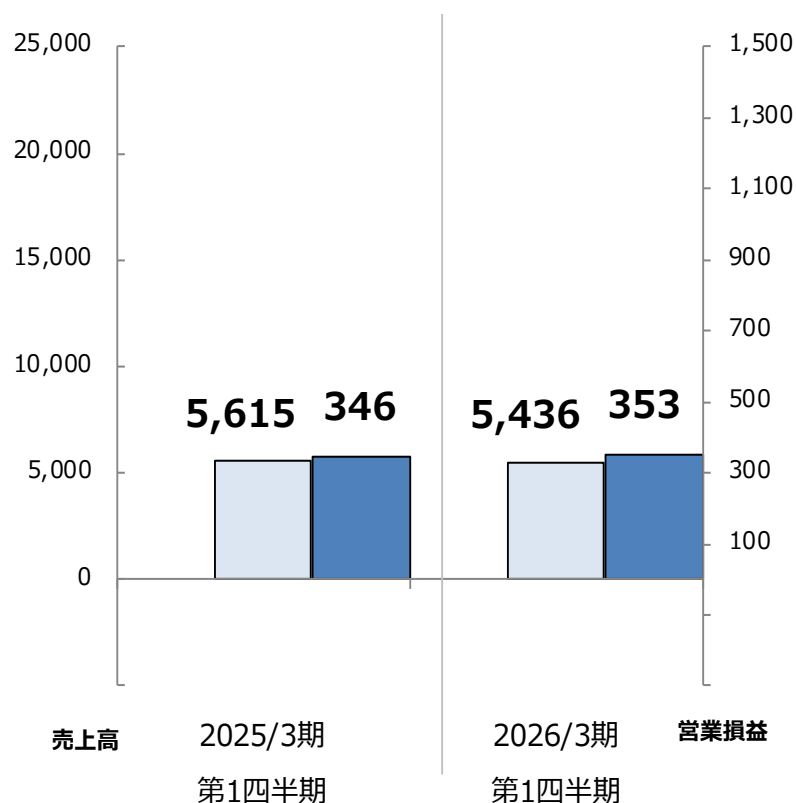
北米

(内部取引消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□売上高
■営業損益



【売上】 △179 (△ 3.2%)

△為替円高による影響

【営業損益】 +6 (+2.0%)

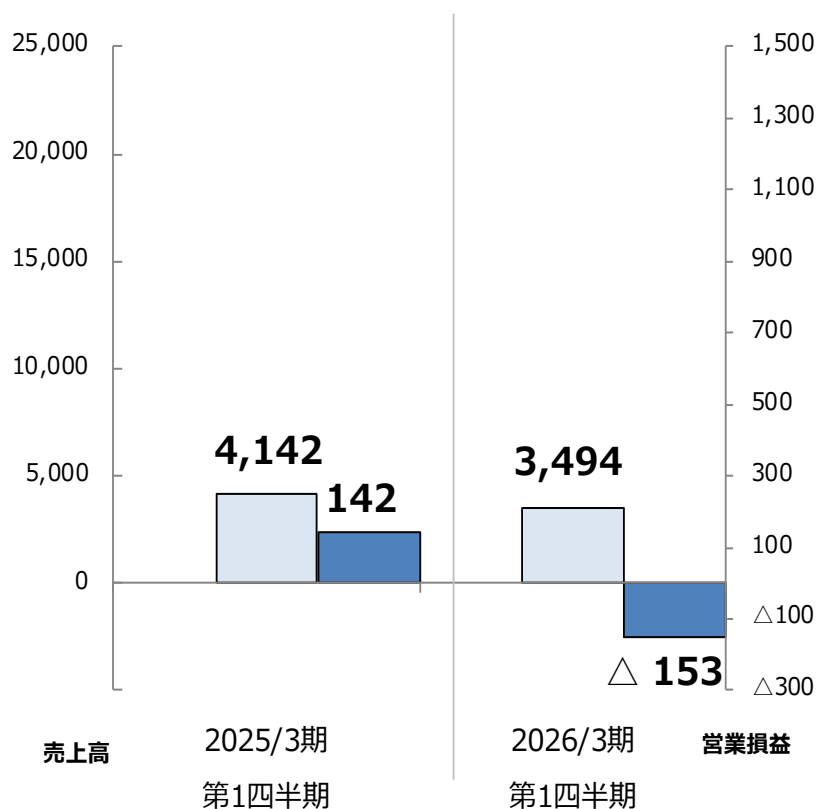
欧州

(内部取引消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高
■ 営業損益



【売上】 △647 (△ 15.6%)

△EV化に伴う乗用車関連の受注減

【営業損益】 △295 (-)

△自動車用軸受の減収による影響



【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその現実を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、当社グループは今回の発表内容に対しまして、法令、規則の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表、発表する義務を負うものではありません。従いまして、これまで発表しました「業績見通し概要」などの将来の記述に全面的に依拠しての投資判断などは差し控えるようお願い致します。

【本資料における表示方法】

数値：表示単位未満を切り捨て
比率：表示単位未満を四捨五入